



きずな

安久小学校だより 令和3年6月号

【教育目標】

「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」

～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

地区別下校指導



6月7日に、地区別下校指導を行いました。

子供たちは、地区ごとに集合して、「一列で登校する」、「歩道の真ん中より道路から遠い方を歩く」など、登下校中に注意することを確認して、地区別に集団下校をしました。



班長は、登校中、下級生のペースに合わせて歩いたり、よくお世話をしたりしています。その優しさは、これからも安久小学校の子供たちに受け継がれることでしょう。

地域の見守り隊の皆様、交通指導員の皆様、保護者の皆様、日々子供たちの登下校を見守ってくださり心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



田植え



5年生は、「総合的な学習の時間」に、安久のよさを知る活動の一つとして米作りの学習を進めています。

6月15日に、田植をしました。お手伝いに来てくださった保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

田を貸していただき、子供たちに田植の仕方を教えてくださったのは、松山忠雄様です。11年間お世話になっています。

5月には、米作りについての講話もしていただきました。これからどのように成長していくのか、とても楽しみです。

植物の見た目や、成長の様子をたとえにした「ことわざ」もたくさんあります。

お米作りをされている方々の努力の姿、稲の成長していく様子から、人としての生き方など心の面での気付きもあるといいなあ、と思います。



【稲に関することわざ】

実るほど頭こうべが下がるいなほ稲穂かな

【意味】知識もあるすぐれた人になるほど、他の人に対していばったりすることなく、ひかえ目になること

【解説】稲の穂が、実ってくるほど重たくなり、たれていく様子が頭を低く下げているように見えることから

※「調べて使える！ ことわざブック」(あかね書房)より 【本校図書館にあります】



水泳の学習



2年ぶりに水泳学習が始まりました。

今回、実施するにあたっては、新型コロナウイルス感染症防止のため、「学校の新しい生活様式」をもとに、学習の進め方を何度も職員で協議しました。

感染防止に十分配慮しながら、安全・安心で楽しい水泳学習になるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、御理解と御協力をお願いします。



ICT活用



5年生は、社会科の学習で、北海道の方とインターネットでつなぎ、「寒い土地の暮らし」について勉強しました。子供たちは、真剣に説明を聞きながら、メモをしていました。

今年度、一人1台タブレットも準備されました。これからも、積極的・効果的にICTを活用しながら、学習を進めていきます。



